

これからの時代に求められる 教員としての資質・能力の 向上に向けた取組

73

73

今の時代に求められる教育

グローバルなものの見方・考え方

海外研修派遣
平成26年度15名

平成27年度
30名程度



短期企業派遣研修
平成26年度216名

平成27年度500名

長期企業派遣研修
平成26年度 3名

平成27年度 3名



今の時代に求められる教育

「グローバル人材」の概念

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性、柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解とアイデンティティー

○このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力
チームワークと（異質な者の集団をまとめる）リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等

内閣府「グローバル人材育成推進会議 審議まとめ(2012)」から

◆海外研修派遣



76

76

27年度 海外研修派遣の実施について

■ 趣旨

～海外における教育実践・生活体験を通じて～

- ・異文化理解
- ・コミュニケーション力
- ・主体的、協働的な教育実践の工夫・改善



横浜の子どもたちが

- 広い視野で情報を捉える
- 文化や価値観の違いを理解



垣根を越えてコミュニケーション力等を身に付けられる



27年度 海外研修派遣の実施について

■ 内容

海外の学校で、**英語による授業等の教育実践**

- ・横浜市の紹介
- ・日本文化の紹介
- ・日本語の授業補助や理科の実験の補助
- ・etc.

■ 時期、期間、派遣先

- ・英語を母語・公用語としている国
- ・夏季休業中を中心に2～4週間

(26年度実績: オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ合衆国)

- ・原則ホームステイ



27年度 海外研修派遣の実施について

■ 対象者

- ・主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭
- ・渡航(通関手続等)に必要な英語力
- ・チャレンジ精神

■ 選考

- ・書類及び面接

※26年度最優秀教員は、書類の確認のみ

■ 募集開始

- ・4月初旬

オーストラリアの学校から

ICT活用



発信力

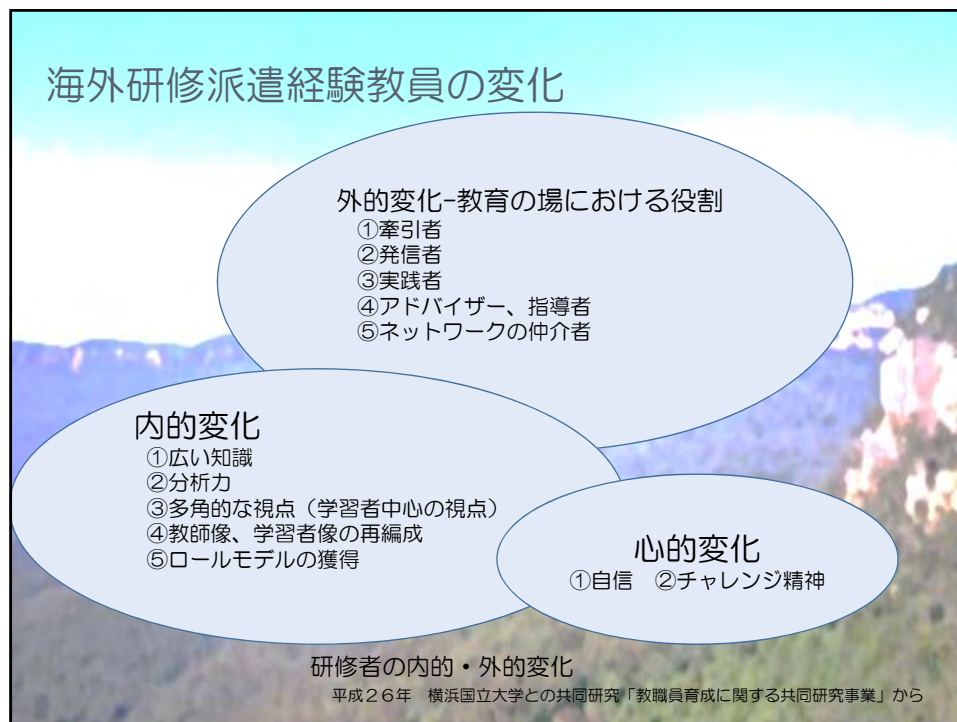


学習者中心



双方向





企業等派遣研修

- 短期（4年目～10年目の教員）
迅速な意志決定方法や業務の効率化などを学ぶ
- 短期（11年目～13年目の教員）
人材育成を学び、資質の向上を図る
- 短期（新任副校長）
「人材育成」「危機管理」などについて体験し、
学校経営にいかす
- 長期（副校長昇任候補者、指導主事候補者）
派遣企業毎に研修テーマを設定

82

教職員の育成に関する共同研究(グローバル)

グローバルなものの見方、考え方を身に付ける教員育成プログラムの開発

1 研究の背景

グローバル化が加速する社会において、今後ますます創造的で活力のある人材が求められる。とりわけ、価値観の多様化が進む中、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身に付け、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育てていく必要がある。

2 研究の目的

グローバルなものの見方、考え方等の教員に求められる資質・能力等を明らかにし、教員育成プログラムの開発ならびにそれに必要な調査研究を行い、横浜市の学校教育の充実に寄与する。

3 研究内容

- 横浜市で育成する「将来グローバル人材になりうる子どもの姿(仮)」の概念について整理する。
- グローバルな視点から人材育成指標を検討し、教員に求められる資質・能力について明らかにする。
- 教師の資質・能力を向上させる方法について学校での実態調査・アンケート等を通して開発する。

臨時的任用職員・非常勤講師研修、採用前研修

臨時的任用職員及び非常勤講師研修

教員に求められる資質・能力は、児童生徒及び保護者にとって、
臨時的任用職員及び非常勤講師においても同様です。

児童生徒のより良い成長のために
臨時的任用職員及び非常勤講師の資質・能力の向上を図ります。

オリエンテーションの充実

研修の見通しを持ち、個々の実情や実態に応じた研修を行い、自発的に学ぶ姿勢の構築を図り、研修の効果を高めま

受講者に応じた研修

各学校方面事務所による、「学級・授業づくり」「人権教育・児童生徒の理解と指導」についての研修や各所管課による職種別研修の実施。

学校のニーズに応じた研修

「学習指導と学習評価」「学期末事務処理に向けて」についての研修の実施

横浜国立大学教育人間科学部

附属教育デザインセンター連携講座
テレビ会議システムを利用した研修

- 平成20年版学習指導要領における新しい授業づくり～授業をどうするか～
- 子どもの理解を踏まえた授業づくり～子どもの目線に立って～
- 授業の組み立て方と評価～今、そしてこれからの授業観～

外部講師や専門家による研修

専門家などによる最新の情報に基づいた教育の在り方などについての研修の実施（予定）

平成27年度新規採用予定者「採用前研修」

1 趣旨

平成27年度新規採用予定者が、社会人及び教職員としての基本を学ぶとともに、学校における業務を知り、見通しを持って4月を迎えることができるように、次のとおり研修を行います。

2 対象

平成27年度新規採用予定者（教諭・養護教諭・栄養職員・学校事務職員）

3 研修概要

(1) e講座（インターネットによる研修）【必修】

実施期間：平成26年11月～27年3月

内容：「横浜の教育を知ろう」

横浜市教育委員会WEBページを閲覧し、横浜の教育政策について幅広く学ぶ。

(2) 学校参観（横浜市立学校の授業参観）【希望者】

日時：平成26年10月

内容：『「学校をひらく！」週間』で一般公開している横浜市立学校での授業参観等を促し、横浜市立学校の様子を実感する。

場所：横浜市立各学校

平成27年度新規採用予定者「採用前研修」

(3) 採用前集合研修【希望者】

3月16日(月) 花咲研修室 「オリエンテーション」「社会人としての基礎」

3月17日(火) 花咲研修室 「横浜と横浜の教育」「今日の教育課題」
「コミュニケーション」

3月18日(水) 花咲研修室
「児童生徒の理解と指導」「特別な支援を要する児童生徒の理解と指導」
「健康教育・食育」「安全教育」

3月19日(木) 各方面別学校教育事務所「学級・授業づくり(教諭)」
花咲研修室「職種別研修(養護教諭、栄養職員、学校事務職員)」

3月21日(土) 横浜国立大学
「教職員養成研修」
※教職員養成研修は、横浜国立大学と横浜市教育委員会連携事業として行います。

3月末まで「業務理解研修」(配属校)

・4月からの配属校において、学校や学区の状況を知るとともに業務について学びます。

87

◆ 初任者・臨任教員 サポートボランティア

88

88

平成27年度 初任者・臨任教員 サポート事業

◆ 平成27年度新採用教員

*ただし、初任者研修対象者のうち**校内方式**による指導を受けるもので、臨任、非常勤の経験のない者

派遣期間は、4月1日～30日の1か月
サポーターによっては、5月までの延長も可能です。

◆ 臨任教員

教職経験のない臨任教員

派遣期間は、原則として1か月程度
サポーターによっては、5月までの延長も可能です。

サポーター

校長・副校長OB

サポート内容

サポーターによるキャリア支援及び精神的支援を中心に**スタートに当たっての基礎的な支援等**をお願いしています。

(1) キャリア支援

- ア 学習指導(授業づくり)にかかわること
- イ 児童生徒理解にかかわること
- ウ 学級経営等にかかわること
- エ 同僚等の連携にかかわること

(2) 精神的支援

- 人間関係等にかかわること



講座の一例

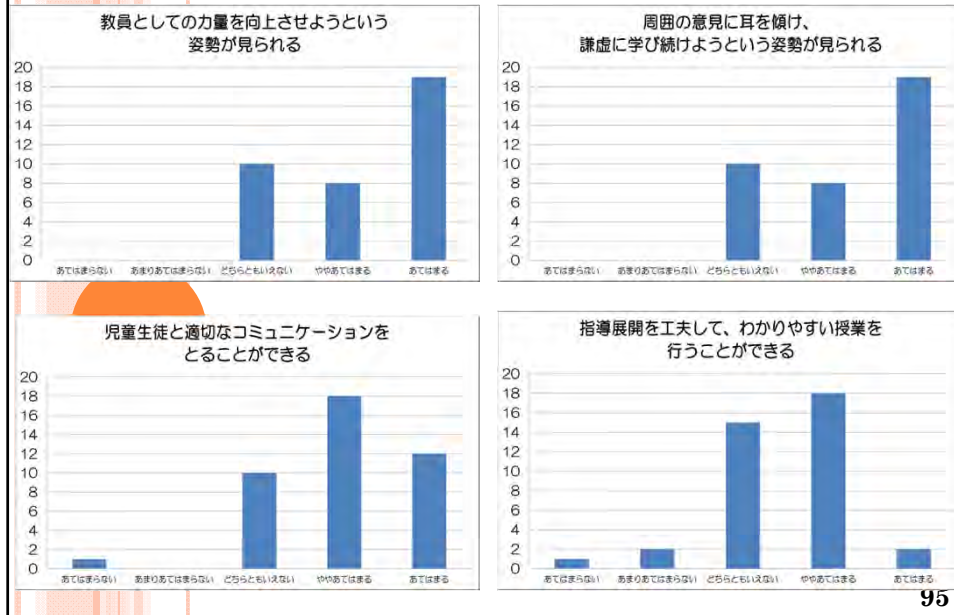
- 指導案作成、模擬授業
- コミュニケーション力向上講座
- 教職教養基礎講座
- 指導主事による講座
- フィールドワーク
- 文章作成力向上講座

実践力

卒塾生の感想 ～アイ・カレッジに入塾してみて～

- ・本気で教師になりたいという仲間にたくさん出会えた！
- ・真剣に仲間と学び合い、お互いを高めあえた！
- ・横浜の教育施策について、深く学べた！
- ・横浜の教員を目指す気持ちが強くなった！
- ・想像していたより厳しく、最初は戸惑った！
- ・ボランティア先でも、「どう動けば子どもの成長につながるのか」を考えるようになった！
- ・自ら学ぼうとする姿勢がなければ、教師になれないと理解した！

卒業生の学校での状況

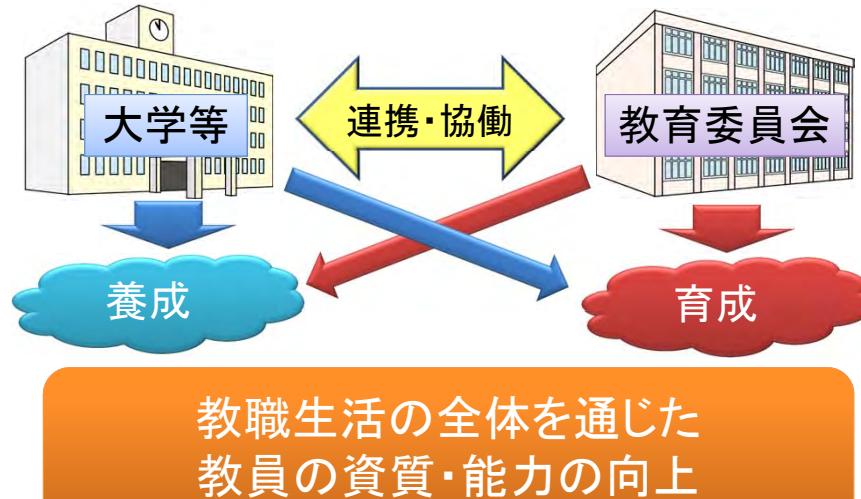


◆大学等との連携・協働

96

96

連携・協働の目標とするもの



※ 本協定を締結した大学等を、「連携大学等」とする。⁹⁷

1. 連携全般について

- ◆大学から横浜市教育委員会への要望
 - ・教員養成・育成の具体的内容の提示
- ◆連携の方向性
 - ・分野(テーマ)ごとに議論できる会議の設定
 - ・連携システムの構築

➡ 方向性(横浜市教育委員会より)
大学と教育委員会との教員の養成・育成に
関する協定の締結及び連携協議会の設立

98

2. 養成・育成カリキュラムの接続

◆構想(各大学からの御意見)

- ・大学のシラバスとの接続
- ・教員養成・育成カリキュラムの共同開発
- ・理数教科の教材の研究、実験などの連携

◆交流、視察

- ・大学間、大学と市教委・学校との人的交流

☞方向性(横浜市教育委員会より)

本市教職員のキャリアステージにおける人材育成指標(横浜市が求める教員の資質・能力)と各大学教員養成シラバスとの接続

99

3. 教育実習

◆大学からの要望

- ・教育委員会の窓口設置と円滑な受け入れ体制の構築
- ・教育実習での指導内容の共通化

◆構想(各大学からの御意見)

- ・教育実習における相互の連携

☞方向性(横浜市教育委員会より)

教育実習の学生受入に係る教育委員会の窓口設置

100

連携・協働して進める 今後の教育実習の在り方

将来の横浜を担う優秀な人材を養成するには、教育実習の質を高めることが大切である。

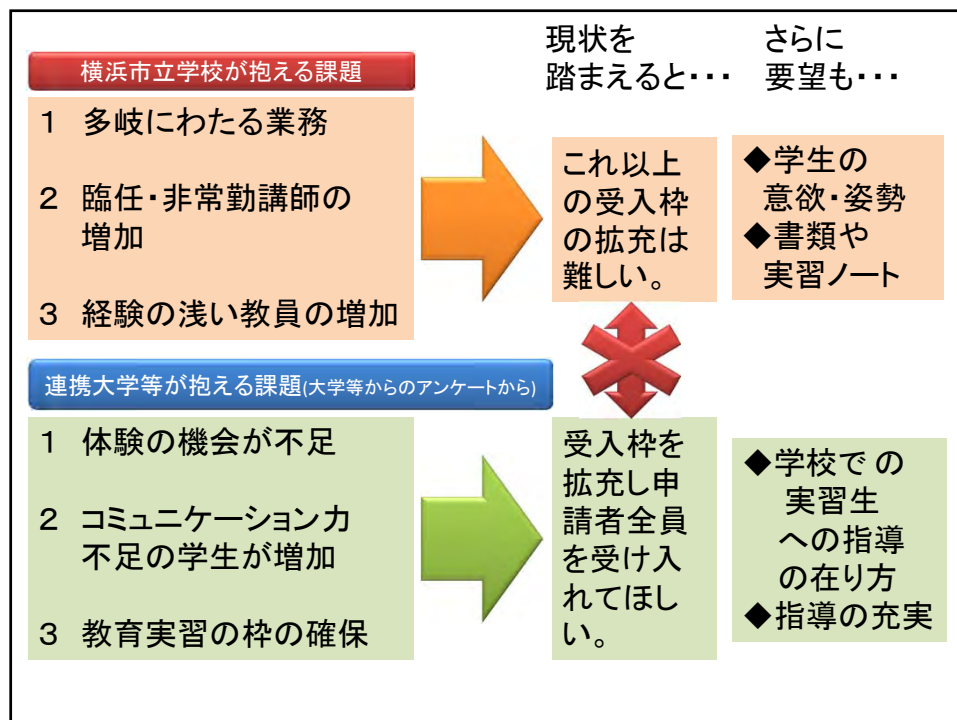
では、教育実習の質を高めるにはどうしたらよいか？

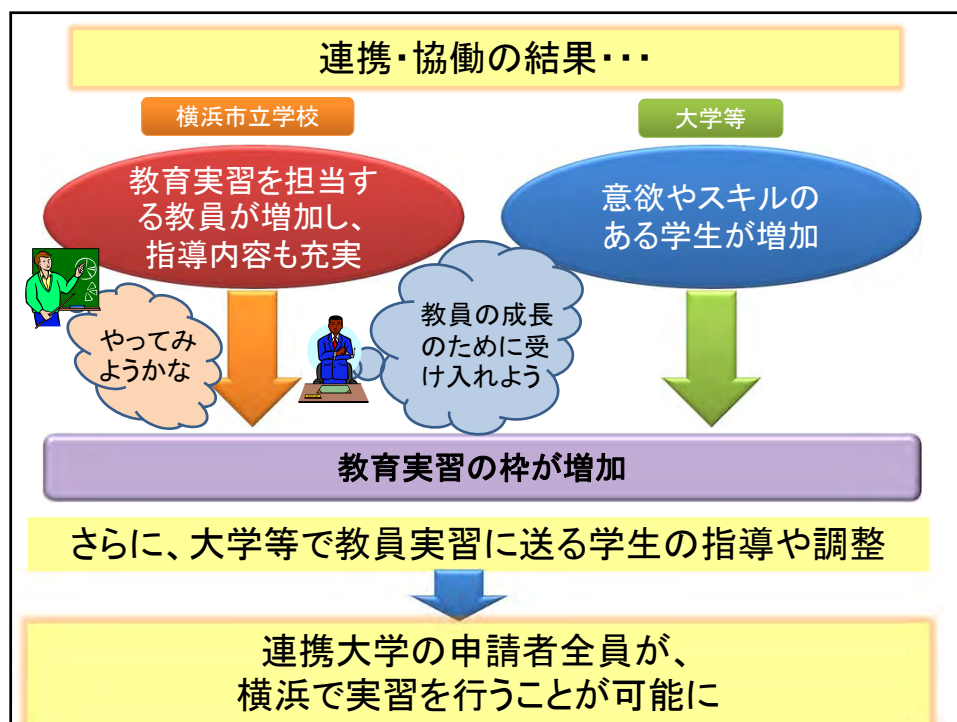
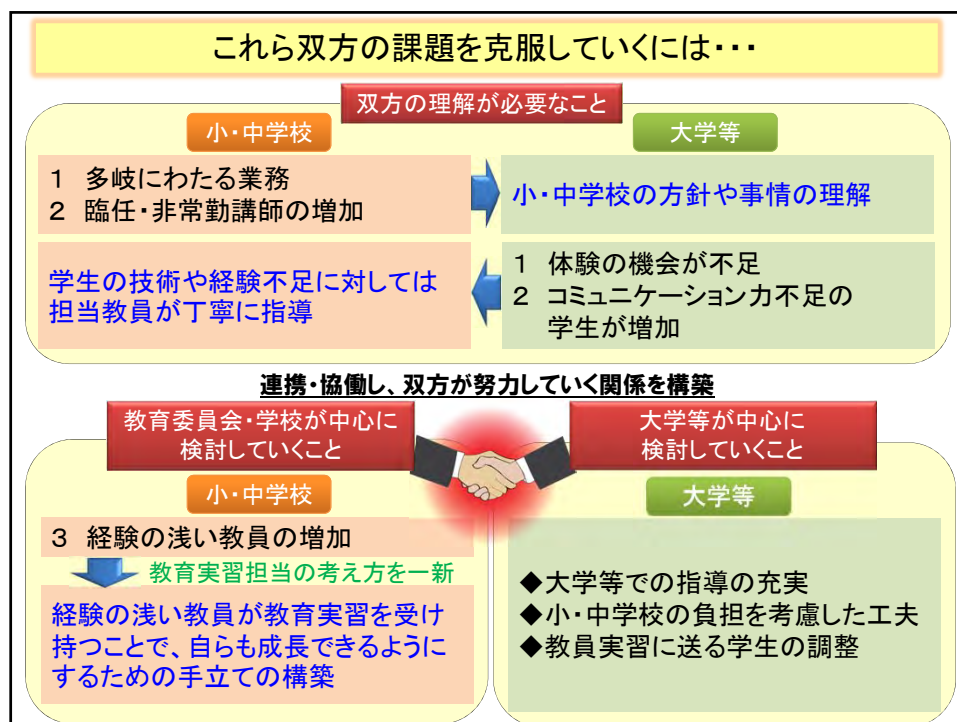
【横浜市立学校、教育委員会】

学生が教員としての実践力を身に付けることができる
指導体制の構築

【大学等】

教員を目指す学生の養成の充実
教育実習のための事前・事後指導の充実





4. よこはま教育実践ボランティア

◆大学からの要望

- ・教育委員会の窓口設置と受け入れ体制の整備
- ・大学1年次からの受け入れ

◆構想(各大学からの御意見)

- ・相互連携の中でのボランティアの見直し
- ・行事への関わりや、連続した体験の流れの構築



☞方向性(横浜市教育委員会より)

教育ボランティア、フィールドワーク等の学生受入に係る教育委員会の窓口設置と受入体制の整備

※実践力を磨くため、大学1年次からの受入も検討

105

「よこはま教育実践ボランティア」の実施

1 目的

教員を目指す連携大学等の学生に、教員としての実践力を養成するために、市立小・中学校における教育活動を支援するボランティアの場を提供します。

2 活動内容

- (1)泊を伴わない行事(例 運動会、遠足 等)
- (2)宿泊行事(例 宿泊体験学習、修学旅行 等)
- (3)学校における日常の業務
(例 学習支援、個別の支援 等)

よこはま教育実践ボランティアについて

第3期(平成27年1月からの活動)

- ◆学校からの募集 63種 200名以上
- ◆学生からの申請数 32件

第4期(平成27年4月からの活動)

- ◆学校からの募集 277種 770名以上
 - ◆学生からの申請数 98件(2月20日第1次締切時点)
- ※過日、通知しましたとおり、第2次申請期間を設定

第2次申請期間:平成27年3月9日(月)～4月24日(金)
大学等での学生の登録も同期間で受け付けます。

5. 大学から教職員研修への 人的・物的協力

◆大学側ができること

- ・現職教員研修への人的・物的協力

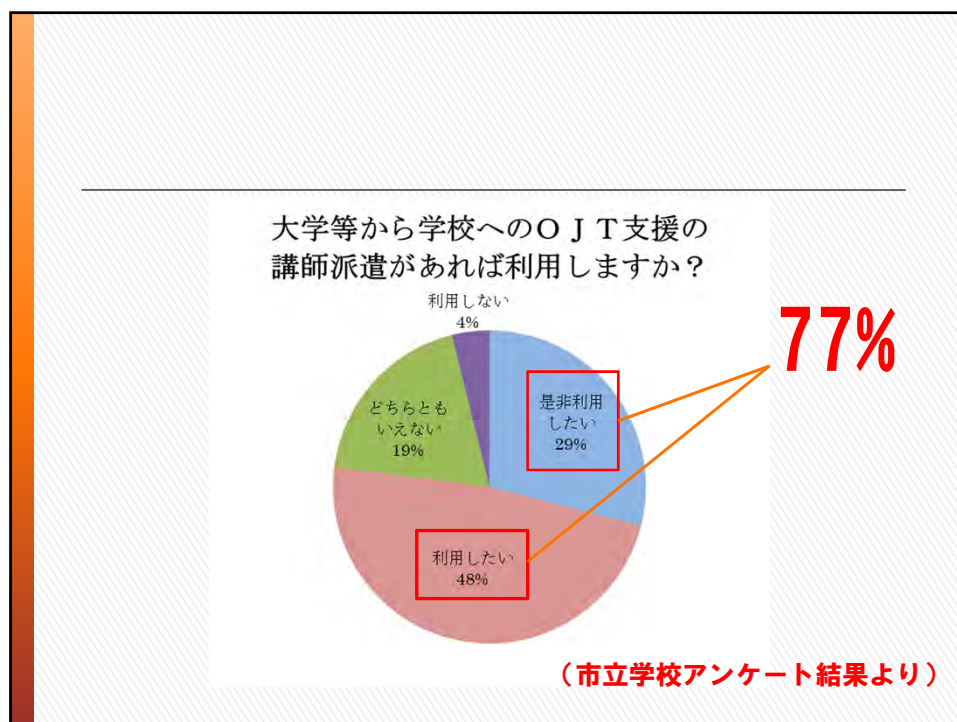
◆構想(各大学からの御意見)

- ・波及力の高い教員研修の実施
- ・大学の個性を生かした技術提供

☞方向性(横浜市教育委員会より)

「学び続ける」環境構築に向けた、OJT支援や大学の
オープン講座等の開設を要請

108



横浜市立学校が希望する、大学からの支援の主なもの

【主な場面】

- ◆校内重点研究会での講演
- ◆授業研究での講師や助言者
- ◆校内の指導体制作りから、恒常的な関わり
- ◆教務主任会などのアドバイザー
- ◆夏休みの職員研修の講師
- ◆小・中一貫ブロックや授業研修会の講師や助言者
- ◆教育研究会主催の講演会
- ◆大学の先生を囲む研究会など

（市立学校アンケート結果より）

横浜市立学校が希望する、大学からの支援の主なもの

【主な目的】

- ◆経験の浅い教員の育成
- ◆指導力（授業力含む）の向上の支援
- ◆メンターチームへの支援
- ◆主幹教諭クラスの指導の支援
- ◆ミドルリーダーの育成
- ◆個に応じた指導の在り方
- ◆いじめの未然防止について
- ◆教員と一緒に授業に関わりながらの指導技術等の支援

（市立学校アンケート結果より）

横浜市立学校が希望する、大学からの支援の主なもの

【主な内容】

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| ◆教科指導法 | ◆評価・評定 | ◆教材教具の扱い方 |
| ◆教育相談 | ◆カウンセリング | ◆児童心理学 |
| ◆発達障害 | ◆道德教育 | ◆キャリア教育 |
| ◆国際理解 | ◆カリキュラム | ◆ICT機器の |
| ◆情報処理 | マネジメント | 授業への活用 |
| ◆福祉 | ◆危機管理 | ◆教育法規 |
| | ◆食育 | 等 |

(市立学校アンケート結果より)

6. 教育委員会から学生支援

◆大学からの要望

- ・「教職実践演習」等の指導主事・教員の派遣
- ・教職を目前に控えた4年生に対する支援
- ・現職教員による教師の仕事紹介
- ・「ハマ・アップ」との連携

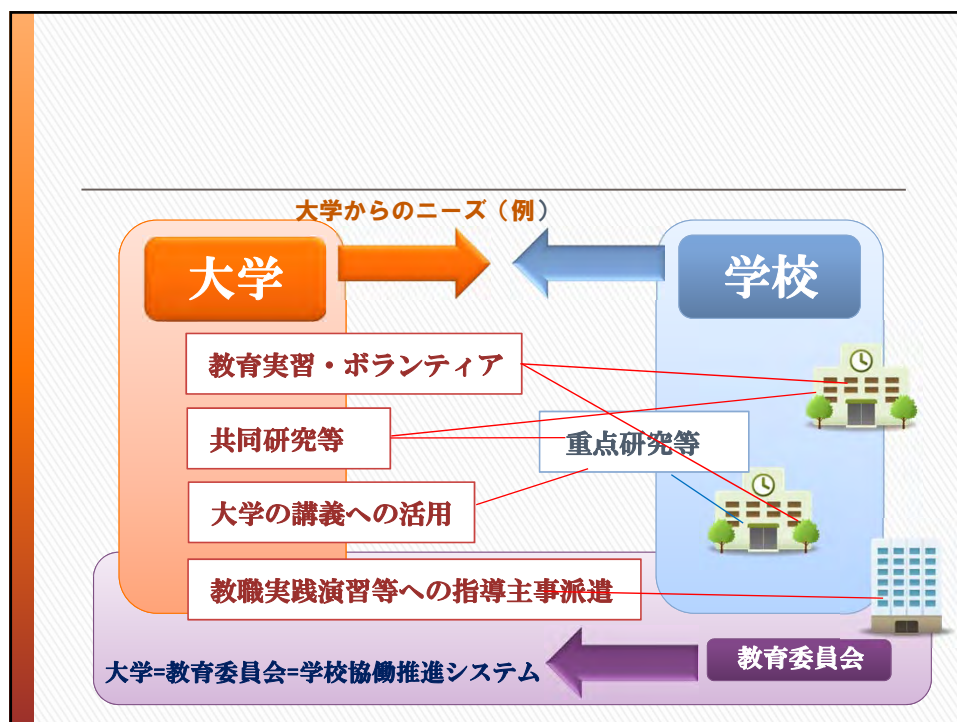
◆アイ・カレッジ(教師塾)

- ・教師塾の実施日、内容の検討
- ・教師塾入塾者の拡充、教師塾の拡充

☞ 方向性(横浜市教育委員会より)

教職実践演習に関する指導主事派遣等
よこはま教師塾「アイカレッジ」の充実に向けた検討

114



連携・協働のモデル例

モデル1

横浜市立学校
教育委員会



指導主事等の派遣

大学等教員の派遣

大学等



モデル2

横浜市立学校の授業研究に
大学等の教員が協力

授業研究における公開授業を
大学等の学生が参観、懇談





